

諫早開門時期の前倒しを

漁民にとって死活問題

【大串博志衆議院議員・衆議院農林水産委員会 4月4日】

大串…ノリに取り組んでいる漁家の皆様からは、12月の開門である、と、ノリの漁期、大変心配であると。ちょうど秋芽のノリから冷凍ノリに移る時期。しかも、どうしてもこの数年間、繰り返し赤潮が発生して、漁家の皆さんは大変苦しんでいらっしゃると思います。ノリ漁期に影響すると大変心配だという声があります。ノリの漁家の皆さんにとってみると死活問題なんです。(漁業被害が出ないように開門するという話)が「まだまだ漁家の皆さんの胸にはほとんど落ちていないんですね。それで本当に大丈夫と思える状態になりきっていないところに大きな問題がある。これまで数年間、毎年、年末から年初に起こる赤潮で冷凍ノリに大きな被害が出ています。そういう中でまた12月かという話なんです。大臣、ぜひ強い意思を持って、ノリの漁期に影響を与えない形を作っていくんだという決意を示していただきたい。

林農相…ノリの養殖の収穫期と重ならないようにというご希望、これは非常に強いものがあるというふう

に私も受け止めさせていただきました。何とかノリに心配のないような方向でやっていきたいというところはかたやより申し上げてきたところでもございまして、それとは別に、福岡高裁判決の確定というのがございまして、12月までに開門すべき義務はあるということも一方で申し上げておかなければならないと思いますが、一番良い道はどういうことがあるのかということを引き続ききちつと考えてまいりたい。

大串…引き続き、時期を前倒ししていただきたいと申し上げます。

諫早開門 最後の希望

【赤嶺政賢衆議院議員・衆議院予算委員会 4月12日】

赤嶺…福岡高裁判決が命じた開門、漁民は最後の希望をこれに託しています。一日も早い開門が求められているわけですが、佐賀県の方からは、ノリの漁期の最盛期である冬場の開門は避けて欲しいと述べ、12月開門ではなく開門の前倒しを訴えております。漁協の組合員も減り続け、自殺者も相次いでいる、漁業者の努力も限界だとして10月1日開門を強く訴えている。政府は、この要求をどのように受け止めているか。

林農相…開門に当たっては、ノリ養

殖をはじめとして、漁業への悪影響が生じないようにすることが不可欠。開門の期限を前倒しするという点については、現実問題として、長崎側の地元の関係者の理解を得る、これが非常に困難と考えられる。もう一つ、海水淡水化施設の設定など、開門準備のための工事に一定の期間を要しますことから、開門時期を前倒しすることは困難と考えている。

赤嶺…本当に今年10月に開門をやるという立場から物事を見ていくという意味での検証を改めて求めたい。10月の開門要求に応えるための農水省との話し合いで、応急的な水源確保として、干拓地の中にある潮遊池の活用も検討したかどうか。そして、どのくらいの水量があるんですか。

農水省…潮遊池は、調整池の淡水とは異なり、従来の堤防から干拓地までのところの水路でございまして。そういう意味で、容量は大きくないし、現段階でも塩分濃度が高い状況。

赤嶺…短期開門調査のとき、皆さんが発行した「開門調査のお知らせ」というパンフレットを見てみました。あのときも水源が大問題になっていたわけですね。その時、皆さんが出したパンフの中で「潮遊池からの農業用水は今までもどおり使えます」と。塩分についても対策をとります、これで足りない場合は応急的な措置をとります、と書いてあるんです。短期開門調査のときは潮遊池も水源として検討していた。何で、今、そ

れが検討できないんですか。改めて、潮遊池も水量についても、水源として使えないかどうかについても強く求めたいと思います。当時のパンフレットには「開門調査の内容は以下の通りです。調査データも公表します」「排水門からの流入と排水の方法を工夫します」とか、潮遊池をいかに安全に水源として確保するかというものもある。防災機能も開門してもいままでもどおり、湾内漁場に被害が生じないようにします。「潮遊池からの農業用水は今までもどおり使えます」とか、こういうパンフレットをつくって、不安を与えないような説明をして、長崎の理解も得る、農家の理解も得る、漁民の理解も得る。今回もこのようなパンフレットを早く作って長崎側の理解を得る努力をすべきではないか。

林農相…簡単に分かりやすいパンフレットをつくって、理解を得るようにつめて行きたい。できるだけ速やかに作成したい。

赤嶺…短期開門調査のときは4月だったから潮遊池の水が使えていたけれども、今度は10月だからというのには理屈に合わないですよ。きちんと調査することを求めます。大臣、本当に漁民の方が、これ以上開門がばされると、もう漁業から抜けていく人たちがどんどん出てきて、漁業が続けられないという悲鳴が上がっています。一日も早い開門調査を強く求めます。